

各位

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
 国立大学法人群馬大学

群馬大学との産学連携協定締結内容について

～次世代モビリティ社会実装に関する研究について損害保険会社と大学が連携～

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（社長：金杉恭三）と、国立大学法人群馬大学（学長：平塚浩士）は、「次世代モビリティ社会実装研究に関する協定書」（以下「産学連携協定」）を締結しました。

昨今の自動運転技術の進展に伴い、自動運転自動車の実用化に向けた官民の動きが活発化しており、自動運転自動車の普及の途上で顕在化する諸課題に対して、いち早く対処していくことが重要となります。

群馬大学では、本年10月より群馬県桐生市内で公道実証実験を開始、今後、群馬県を中心とした各地の公道で実証実験を展開していく予定です。あいおいニッセイ同和損保では、群馬大学内に同社名の研究室を設置し、本実証実験への参画による群馬大学との共同研究を通じて、保険商品面、事故の対応面からの諸課題について研究開発を進めてまいります。

あいおいニッセイ同和損保と群馬大学は、両者で連携しながら、今後も、自動運転自動車の実用化・普及に向けて貢献してまいります。

1. 産学連携協定の概要

完全自律型自動運転を可能とする次世代モビリティの社会実装・実用化に関する以下の事項について、両者で連携しながら研究を進める。

- ① 次世代モビリティシステムの研究開発に関すること
 （商品・サービスならびに損害調査の研究開発に関する事項）
- ② 次世代モビリティシステムの社会実装に関すること
- ③ 次世代モビリティシステムに係る人材育成に関すること 等



実証実験イメージ

2. 産学連携協定の背景と目的

昨今、自動運転技術の進展や国の成長戦略等による研究開発の加速から、自動運転自動車の開発・普及に向けた官民の動きが活発化しており、交通事故の削減、渋滞の解消、高齢者等交通弱者の移動支援などに繋がるのが期待されています。

群馬大学では、完全自動運転社会を実現し、次世代自動車産業振興に資する産学官金連携イノベーションの拠点を形成するため、今年1月、同大学内に「次世代モビリティ社会実装研究センター」を設置し、本年10月から行っている群馬県桐生市での公道実証実験の他、今後、群馬県を中心とした各地の公道で実証実験を展開していく予定です。地域自治体の交通インフラの整備や過疎化・高齢化の切迫する行政課題に対応した交通システムの開発、問題解決に貢献していきます。

あいおいニッセイ同和損保では、昨年12月に自動運転自動車の実証実験を取り巻くリスクを補償する「自動走行実証実験総合補償プラン」を発売しております。一方で、自動運転自動車の普及の過程においては新たなリスク・事故形態が出現する可能性があります。変わらずお客さまに安心・安全をご提供していくため、群馬大学内に同社名の研究室を設置し、自動運転自動車の技術開発・実証実験を通じて、自動運転自動車向け専用保険の開発、自動運転自動車事故等に係る損害調査手法の構築に向けた共同研究を進めてまいります。

産学連携協定の締結後は、両者の連携を強化しながら自動運転自動車に関わる共同研究を進めていくとともに、あいおいニッセイ同和損保が担当する損害保険講座を群馬大学内に設置することを通じて、大学生や社会人向け高度人材育成にも共同で取り組んでいく予定です。

以上